



株式会社和歌山建材リサイクルセンター

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年4月1日～ 2024 年 3月31日)



エコアクション21
認証番号0013673



作成日： 2024年 6月 7日
更新日： 2024年 8月 7日

目 次

項 目	ページ
ご挨拶	3
環境経営方針	3
組織の概要・認証登録の対象組織、活動	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
保有許可の内容	7
廃棄物処理フロー	8
主な環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	9
環境経営計画の取組結果とその評価	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



【ご挨拶】

当社は平成9年の創業以来、適正且つ適性な廃棄物の処理と各種再生資源物の製造により、資源循環型社会の形成を目指し、日々努めております。また、造成工事等を通じて社会インフラ整備の一翼を担い、地域社会に貢献する企業としても邁進しております。

近年、ますますクローズアップされ、対応が急務とされる地球温暖化等の環境問題は、全人類共通の課題であり、私たち一人一人、一社一社が、例え小さくとも、確実に継続的な取組みを積み重ねることが肝要だと考えております。

創業して四半世紀を迎えるにあたり、看過することができない地球温暖化問題の解決に向け、エコアクション21を積極的に推進し、地球環境並びに地域社会の更なる発展に寄与する企業を目指して参ります。

【環境経営方針】

＜環境経営理念＞

株式会社和歌山建材リサイクルセンター（以下、「当社」という。）は、事業活動を通じて、環境保全と社会貢献に資する企業です。地球温暖化問題に真摯に向き合い、地域の環境活動に従業員一丸となって自主的・積極的な活動に励み、継続的な改善に取り組みます。

- リサイクルを通じて地球環境にやさしい社会の実現を目指します。
- お客様のニーズに応え、顧客満足度（CS）の向上を目指します。
- 従業員全員が心満たされ、豊かさを感じられる職場づくりに努めます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1．環境関連法規制等や当社が同意する要求事項を遵守する。
- 2．各種の省エネルギー活動等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．廃棄物の発生抑制に努める。
 - ・建設部は、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
 - ・環境部は、受託廃棄物のリサイクル率100%の維持継続に努めます。
- 4．適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5．環境に配慮した工事・中間処理に努めます。
- 6．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2021年11月10日

代表取締役

東 泉弘

□組織の概要

更新日：2024年4月1日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社和歌山建材リサイクルセンター
代表取締役 東 宗弘
- (2) 所在地
本社・第1工場 和歌山県和歌山市西浜1660番地の331
第2工場 和歌山県和歌山市雑賀崎泊り新開2007番1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 取締役専務 川端 拓 TEL：073-446-3196
担 当 者 E A 2 1 事務局長
- (4) 事業内容
一般・産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、建設業（土木）、一般貨物自動車運送業、再生品販売
- (5) 事業の規模

法人設立	平成9年3月24日				
資本金	20 百万円				
売上高	835 百万円	(令和5年度)			
	本社	第1工場	第2工場		合計
従業員	名 39 名	4 名	2 名		45
延べ床面積	m ² 181.57 m ²	446.5 m ²	259.14 m ²		887.21

受託した産業廃棄物の処理量 (令和5年度)

収集運搬量	18,272 t		
中間処理量	97,399 t	うち再資源化量	97,399 t

受託した一般廃棄物の処理量 (令和5年度)

中間処理量	121 t	うち再資源化量	121 t
-------	-------	---------	-------

車種	台数	備 考
10 t ダンプカー	13 台	
4 t ダンプカー	2 台	
3 t ダンプカー	3 台	
2 t ダンプカー	2 台	

主要設備

名称	台数	備考
一次破砕機	2 基	第1工場、第2工場 各一基
二次破砕機	1 基	第1工場
篩い機	4 基	第1工場：一基、第2工場：三基
汚泥処理機	2 基	第2工場（据付型、移動式 各一基）

主要重機

名称	台数	備考
バックホウ	4 台	
ショベル・ローダー	2 台	

- (6) 事業年度 2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

□認証登録の対象組織、活動

登録組織名：株式会社和歌山建材リサイクルセンター
対象事業所：本社・第1工場
第2工場
対 象 外：なし
活 動：一般・産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、建設業（土木）、一般貨物自動車運送業、再生品販売

□事業・製品の紹介

がれき類を再利用した再生砕石や再生砂



環境部・運輸部・建設部が当社事業の三本柱です



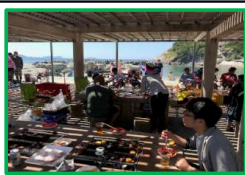
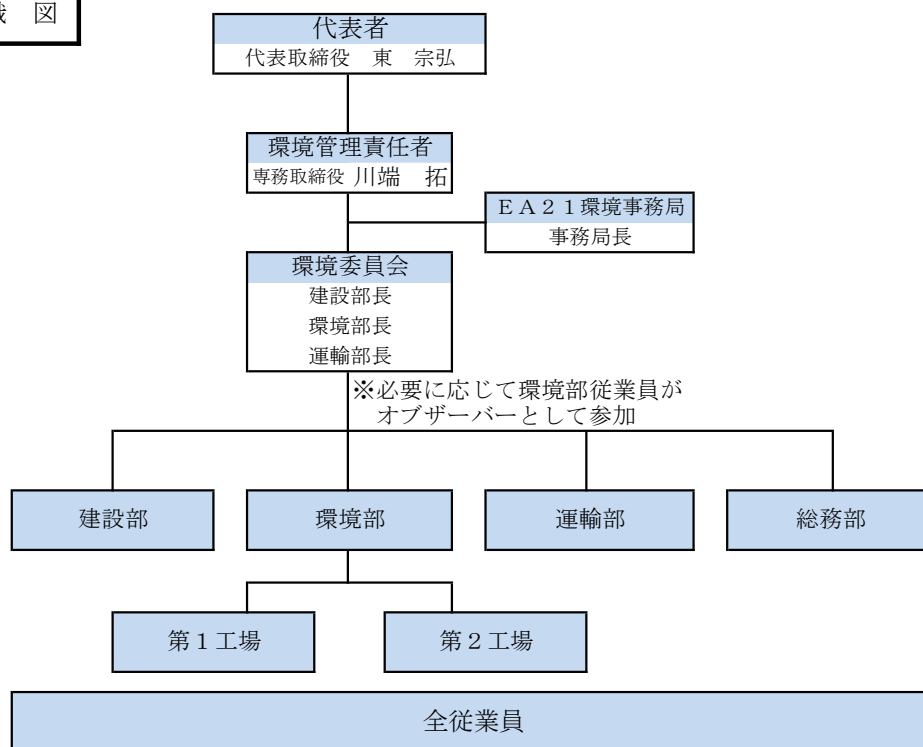
卓越した技術、充実の設備や機械を操り、安全で確かな施工を目指しております



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年4月1日

組織図



役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計、事業部長との連携による教育訓練 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・緊急事態への対応手順書の策定及び試行・訓練の実施。又、その内容を記録する（環境経営レポートにより公開）
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
事業部長 (環境部・建設部 ・運輸部・総務部)	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門における教育訓練を必要に応じて実施（環境事務局との共催でも可） ・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書が有れば、その作成と手順書の運用 ・自部門に必要な想定される事故、緊急事態があれば、対応の手順書の作成 ・上記の策定がある場合は、試行・訓練を実施し記録を作成する ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境保全・配慮への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□保有許可の内容

●一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類
和歌山市	第0820-0002号	令和4年10月1日	令和6年9月30日	一般廃棄物処分量に伴う一般廃棄物

一般廃棄物処分量許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の区分	廃棄物の種類（※）
和歌山市	第082010002号	令和4年6月4日	令和8年6月3日	中間処分	⑥・⑧・⑨・⑪・⑭・⑯
				破碎	
				発酵液化	

●産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類（※）
和歌山県	第03000049526号	令和2年5月9日	令和7年5月8日	無	②・⑥・⑦・⑧・⑨・⑪・⑬・⑭・⑮・⑯
大阪府	第02700049526号	令和5年11月11日	令和10年11月10日	無	②・③・⑥・⑦・⑧・⑨・⑪・⑬・⑭・⑮

（石綿含有産業廃棄物を含む・水銀使用製品
産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く）

●産業廃棄物処分量許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の区分	廃棄物の種類（※）
和歌山市 【優良認定】	第07220049526号	令和5年4月14日	令和12年4月13日	中間処分	⑥・⑦・⑧・⑨・⑪・⑬・⑭・⑮
				破碎	
				発酵液化	
和歌山県	第03020049526号	令和4年12月6日	令和9年12月5日	造粒固化	②（無機性に限る）
				造粒固化	②（無機性に限る）

（石綿含有産業廃棄物を除く・水銀使用製品
産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く）

※廃棄物の種類

①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類 ⑦ゴムくず
⑧金属くず ⑨ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑩鉱さい ⑪がれき類
⑫ばいじん ⑬紙くず ⑭木くず ⑮繊維くず ⑯動植物性残さ ⑰動物系固形不要物
⑱動物のふん尿 ⑲動物の死体 ⑳上記の産廃を処分するために処理したもの

●一般建設業許可の内容

許可番号	許可の期間	許可を受けた建設業
和歌山県知事 般ー2 第15163号	令和2年10月1日～令和7年9月30日	解体

●特定建設業許可の内容

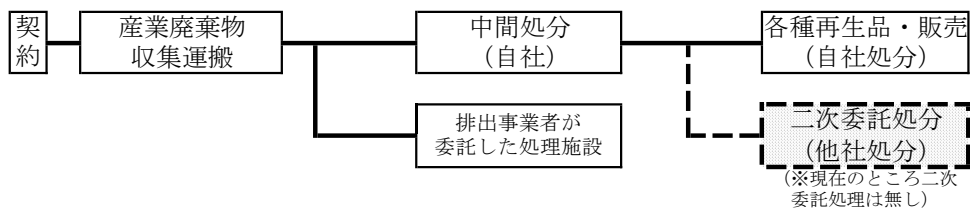
許可番号	許可の期間	許可を受けた建設業	
和歌山県知事 特－ 5 第15163号	令和5年6月17日～令和10年6月16日	土木	とび・土工
		石	鋼構造物
		舗装	しゅん濇
		塗装	水道

●一般貨物自動車運送業許可の内容

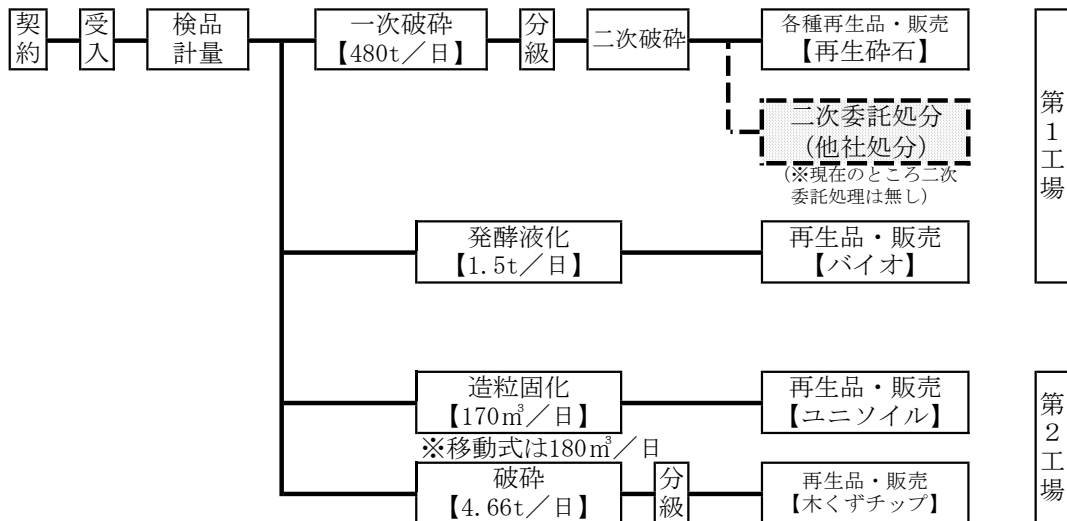
許可	許可年月日	許可番号
近畿運輸支局長	平成19年11月13日	近畿自貨第720号

□廃棄物処理フロー

●産業廃棄物収集運搬業



●産業廃棄物中間処理業



【資源循環】がれき類から再生砕石を製造し、路盤材等として使用されます



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,415,283	1,415,927	1,313,531	
受託収集運搬量	トン	10,569	18,749	18,272	
受託中間処理量	トン	104,135	100,630	97,399	
自社の廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	トン	2.09	1.31	1.01	
産業廃棄物排出量	トン	4,974	10,298	1,127	
総使用水量	m ³	1,200	1,147	1,884	
※二酸化炭素排出係数(事務所・工場)【関西電力】 ＜2019年度・調整後排出係数を適用＞			0.318	0.318	kg-CO ₂ /kWh
※二酸化炭素排出係数(※)【関西電力】 ＜2019年度・調整後排出係数を適用＞			0.318	0.318	kg-CO ₂ /kWh

※負荷の実績CO₂総排出量は西田井倉庫兼現場事務所分、灯油分を含む

□環境経営目標及びその実績

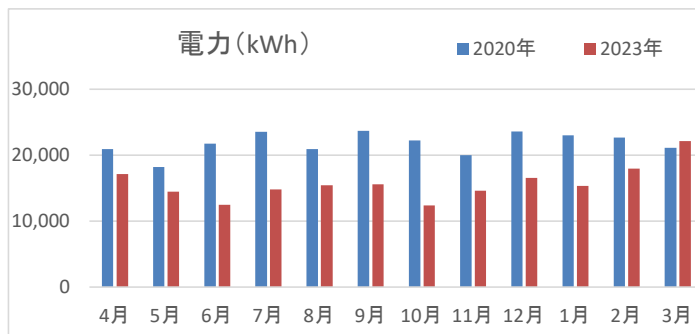
年 度		2020年 (基準値)	2023年		評 価	2024年	2025年
項 目			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 原単位	kg-CO ₂	83,169	80,674	60,096	○	79,843	79,011
	基準年度比	2020年	97%	72%	○	96%	95%
	kg-CO ₂ /千円	0.071	0.069	0.072	×	0.068	0.067
自動車・重機燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,331,014	1,291,084	1,253,256	○	1,277,774	1,264,464
	基準年度比	2020年	97%	94%	○	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,414,184	1,371,758	1,313,352	○	1,357,616	1,343,475
一般廃棄物の削減	kg	2,090	2,006	1,008	○	2,006	1,986
	基準年度比	2020年	96%	48%	○	96%	95%
自社建設部建設副産物の 再資源化率の維持	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
受託廃棄物のリサイクル率 100%維持	%	100%	100%	100%	○	100%	0%
水道水の削減	m ³	1,200	1,128	1,884	×	1,104	1,080
	基準年度比	2020年	94%	157%	×	92%	90%
環境に配慮した工事	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	処理量による操業ラインの運転停止の運用、破砕機の更新により繁忙期の12～3月において目標未達成が3月の1ヶ月だけという結果となったことが大きく評価されます。また年間を通じて、休憩中の消灯等が目標値の72%と大幅な削減達成に貢献し、今後も継続して同等の削減率を目指し、取り組んでいきたいと考えます。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		
・不要照明の消灯		
・効率的なライン操業の推進		
・設備の適切な維持管理		

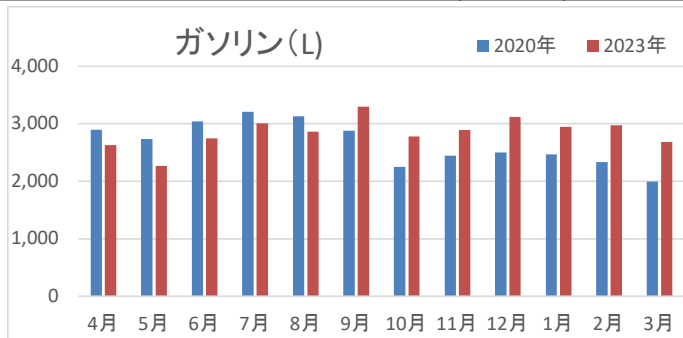


節電で二酸化炭素を削減！



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	20,908	18,228	21,784	23,540	20,930	23,647	22,218	19,999	23,568	22,979	22,658	21,080
2023年	17,141	14,486	12,468	14,819	15,422	15,587	12,396	14,624	16,541	15,373	17,959	22,165

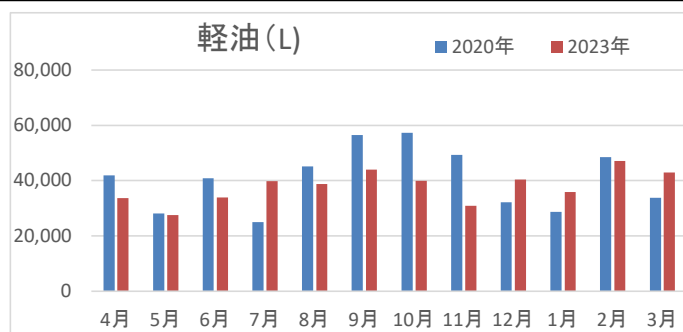
自動車・重機燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エコドライブを行いながら燃費管理を実施した結果、わずかながら目標を達成できた点は評価できますが、1～3月を月単位で見ますと、未達成であった為、その点は来期に向けて何か対策を考えていきます。さらに、燃料使用量の削減に取り組み、環境への配慮、費用削減を目指します。
・アイドリングストップ（自動車、重機）		
・エコドライブ（自動車）		
・省燃費運転（重機）		
・効率的な収集運搬・配送（自動車）		



エコドライブは環境を守り、安



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	2,896	2,735	3,037	3,209	3,130	2,877	2,250	2,444	2,502	2,467	2,338	1,990
2023年	2,632	2,270	2,748	3,010	2,863	3,296	2,784	2,888	3,119	2,946	2,975	2,687

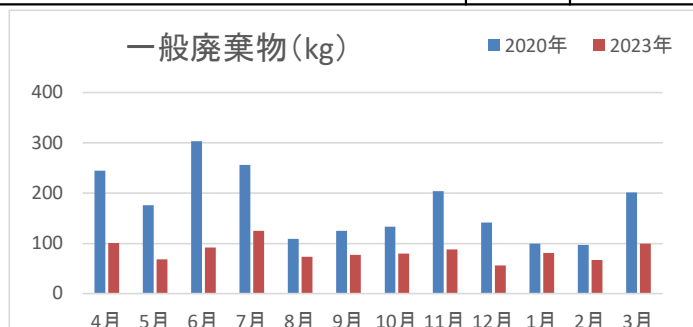


二酸化炭素を削減して



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	41,913	28,131	40,813	25,005	45,114	56,436	57,350	49,254	32,195	28,700	48,532	33,791
2023年	33,697	27,542	33,916	39,818	38,804	43,941	39,935	30,943	40,388	35,860	47,185	42,960

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	当年において、MIX古紙の再利用を強化したことで、達成基準の50%強の軽減が出来たことは非常に良いと考えます。このままの推移を継続していただきたいと共に、さらに軽減できるように意識していただきたいと思います。
・分別の徹底		
・シュレッダー廃紙のリサイクル化		
・MIX古紙のリサイクル化の導入		



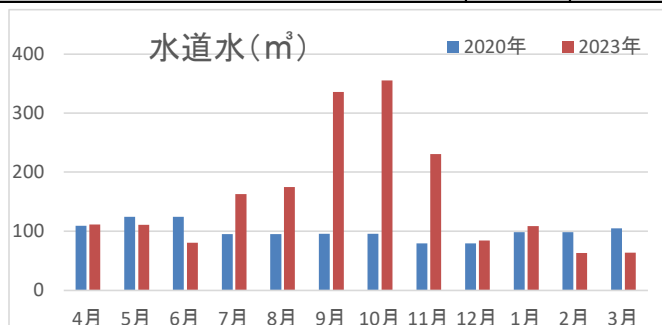
3Rの積極推進でゴミ削減を!



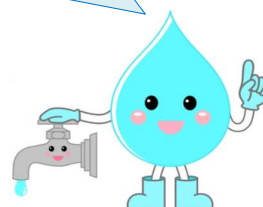
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	245	176	303	256	109	125	133	204	141	100	97	201
2023年	101	68	92	125	73	77	80	88	56	81	67	100

自社建設部建設副産物の再資源化率の維持	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	再資源化率が今期も100%であったことは素晴らしいことだと考えます。今後もこの達成率を継続できるようエコへの意識を維持しつつ、これを活かせるような資源循環環境を継承していただきたいと思います。
・分別の徹底		
・再資源化先の開拓		

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今期において、夏期に水道管の破損漏水という事案が発生したため、数値評価は判断しかねますが、修繕後の数値は安定し、2・3月は基準達成している点ではこのままの継続維持を期待したいと考えます。今後とも毎月の検針を継続いたしま
・節水励行の掲示		
・地下水の更なる有効利用		



大切な水資源を守りましょう!



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	109	124	124	95	95	96	96	80	80	99	99	105
2023年	112	111	81	163	175	336	355	231	85	109	63	64

環境に配慮した工事	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・顧客、ステークホルダーからのクレーム削減 (外部コミュニケーションの充実)		ヒアリハット等の観点から事前に防ぐ対応等をし、クレーム等の発生はありませんでした。環境部は取引企業の工場立会でも問題なく対応できております。来期もこの状況を継続していけるように期待しております。
・環境、騒音、大気(粉じん)への配慮(基準値の順守)		
・設備機器のメンテナンス強化(チェックリストの活用)		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

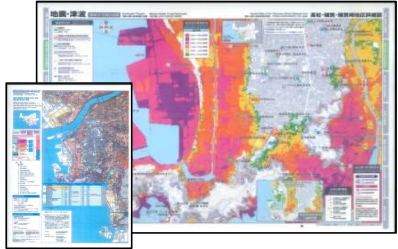
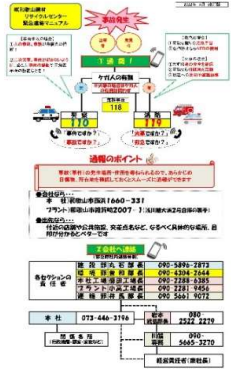
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一廃・産廃／収集運搬業、中間処理業、自社排出廃棄物の適正処理
建設リサイクル法	造成工事、建設副産物
資源有効利用促進法	パソコン廃棄時のリサイクル
家電リサイクル法	特定家庭用機器（テレビ等）の廃棄時のリサイクル
騒音規制法	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー
振動規制法	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー
和歌山県公害防止条例	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー操業時の設備構造基準
労働安全衛生法	重機等の運転（有資格者）
貨物自動車運送事業法	一般貨物自動車運送業
道路運送車両法	自動車の運行
道路交通法	自動車の運転
自動車リサイクル法	自動車の保有（廃車時のリサイクル）
自動車NOx・PM法	トラック（排ガス基準）
オフロード法	重機の運転・特定自主検査の実施
消防法（危険物）	危険物の保管
フロロ排出抑制法	業務用空調機・使用重機のエアコン（点検）
当社が同意する要求事項	SDGs、カーボンニュートラル（※他社からの要求事項は現在のところなし）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

【2024. 2. 1 確認実施】

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 津波の発生	
■実施日： 2023年12月4日（月）	■実施場所： 本社応接室・設定避難先への避難ルート
■参加者： 川端専務・小高・岩川・徳田・松尾 井上	■実施内容： ・図上防災訓練 ・避難訓練
■評価： 図上防災訓練では昨年同様にハザードマップを用いて、津波の到達状況、浸水エリアの危険な範囲を参加者で把握。 又、避難訓練では各自が指定された避難場所へ徒歩にて避難。今回も想定した避難時間よりも早く避難地へ到達できることが確認できた。 今回も図上防災訓練を含めて意義ある訓練となり、マニュアルの有効性を確認できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
	
■実施日： 2023年8月10日（木）	■実施場所： 第1工場
■参加者： 曾和・小高・山崎・岩川・徳田・雑賀	■実施内容： ・緊急連絡シミュレーション ・救護、避難訓練
■評価： E A 2 1 の審査合格後、定期的に緊急事態の手順書に順守した訓練を実施しました。 今期においては、破碎機の入替もあり、制定していた確認項目が以前同様に機能するのを確認。緊急停止ボタンと消火器の設置場所作業状況や使用期限の確認を行いました。いずれも瑕疵はなく、抑えるべき点は問題なく確認することが出来ました。 その後、想定される事態に対処する訓練を実施。火災発生時は消防署等各所への連絡対応、怪我人の救護の対応。火災の初期消火が難しいという設定での避難誘導を訓練いたしました。 訓練終了後は、訓練内容を全員で検証、反省すべき点がないかを確認。手順の有用性を再確認し、改訂の必要性が無いと判断して訓練を終了いたしました。	当社・既存の緊急連絡先 マニュアル 

□代表者による全体の評価と見直し・指示

◆E A 2 1 を取得後 2 年目に突入し、前年からの継続した各種取組みが概ね結果を出せていると考えられる年度でした。継続して数値の維持が出来た点をまずは評価したいと考えます。この環境配慮への意識づけを今後も継続し、結果を残していくように従業員一人一人が考え行動してもらうようにしてください。

◆E A 2 1 の認証取得したことにより、取引企業からも弊社が環境に配慮した企業であることを認知していただけるようになり、その責務は並々ならぬものであるということ、これを維持するためへの社会責任の重大さをしっかりと受け止め、継続できることを望みます。

◆当社の事業活動として永続的課題となる環境負荷の大きな要因となる、各種燃料や使用電力においては、年間を通じては前年同様基準を下回り達成することが出来た点を評価しています。ただし、世界情勢の関係から今後も物価上昇が懸念される中で、環境負荷削減のみならず経費削減も含め経営としてもしっかりと成り立つよう「環境と経営の両立」に務めてもらうよう取り組んでください。

◆一般廃棄物排出量が基準年数値の 5 0 % 以下であったことについては、高く評価できる点と判断しています。印刷紙の裏使用等小さなことからでもリデュースではなく、リユースできるものを増やし、環境負荷への低減、環境破壊防止への一歩としてこの好調を維持し続けてください。今期の水使用量については水道管の破損により適正な数値が取れてはいませんが、今後も必要不可欠な部分は除いて節水に配慮してください。

◆受託産廃・自社建設部発生産廃のリサイクル率の目標は前年同様に達成できております。この目標達成は環境負荷低減を目指す上でも維持・継続が出来るようにお願いします。

◆2年が経過し実績は良好ではありますが、これを維持することが重要であり、今後も継続して推移を把握・分析していくことが必要となります。従って、環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制は策定時のものを採用し、2024年度も変更はしないものとします。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介（一例）

和歌山みなと祭り 開催翌日の清掃活動

和歌山市で毎年7月に行われている和歌山みなと祭りの翌日は打ち上げ花火を見た観覧者が放置していったゴミを和歌山木材港団地振興会の協力依頼により参加し、指定エリアの清掃を行っています。祭り会場には出店があり、食べ物の容器や飲物の缶・ペットボトルがあり、またそれ以外にも祭りとは関係なく捨てられているゴミも一斉に回収し清掃を行いました。

その他、紀ノ川の清掃活動等へも継続して参加。スケールの細大を問わず、環境活動に取り組んでおります。

